

日商簿記1級  
講師が選んだ過去問題集

---

# 答案用紙

---

決算整理後残高試算表

X 6年3月31日

(単位：千円)

現金預金	( )	支払手形	48,680
受取手形	51,320	買掛金	( )
売掛金	62,680	短期借入金	( )
売買目的有価証券	( )	貸倒引当金	( )
繰越商品	( )	未払費用	( )
未着品	( )	建物減価償却累計額	( )
未収入金	( )	構築物減価償却累計額	( )
前払費用	( )	資産除去債務	( )
建築物	2,500,000	資本金	( )
構築物	( )	資本準備金	( )
土地	( )	利益準備金	( )
( )	( )	任意積立金	45,000
その他有価証券	( )	圧縮積立金	( )
貸倒懸念債権	( )	繰越利益剰余金	( )
仕入	( )	( )	( )
棚卸減耗損	( )	一般売上	( )
販売費	( )	未着品売上	( )
一般管理費	( )	受取利息	( )
減価償却費	( )	有価証券運用益	( )
利息費用	( )	有価証券利息	( )
貸倒引当金繰入	( )	受取配当金	( )
為替差損益	( )	投資有価証券売却益	( )
手形売却損	( )		
貸倒損失	( )		
	( )		( )

第1問

語群A	1	2	3	4	5
語群B					

第2問

状況1

記号	空欄の金額

状況2

記号	空欄の金額

状況3

記号	空欄の金額

状況4

記号	空欄の金額

状況5

記号	空欄の金額

第3問


問1

損益計算書

(単位：千円)

売上高		
商品売上高	( )	
役員収益	( )	( )
売上原価		
商品売上原価	( )	
役員原価	( )	( )
売上総利益		( )
販売費及び一般管理費		
販売費	( )	
給料手当	( )	
退職給付費用	( )	
貸倒引当金繰入額	( )	
一般管理費	( )	
減価償却費	( )	
ソフトウェア償却額	( )	( )
営業利益		( )
営業外収益		
受取配当金		( )
営業外費用		
社債利息		( )
経常利益		( )
特別利益		
投資有価証券売却益		( )
特別損失		
投資有価証券評価損		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税	( )	
法人税等調整額	( )	( )
当期純利益		( )

問2

(単位：千円)

①	②	③	④

第1問

イ		ロ	
ハ		ニ	
ホ			

第2問

問 備品A～Dについて、次の①～⑤の各項目の金額を求めなさい。なお、該当する金額がない場合、またはゼロの場合は、解答欄に「－」を記入すること。

- ① 日本商工株式会社の損益計算書において20X8年度に計上される支払リース料
- ② 日本商工株式会社の20X8年度における減価償却費
- ③ 日本商工株式会社の20X8年度における支払利息
- ④ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース資産の帳簿価額
- ⑤ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース債務（未払利息を除く）の残高

備品	①	②	③	④	⑤
A	千円	千円	千円	千円	千円
B	千円	千円	千円	千円	千円
C	千円	千円	千円	千円	千円
D	千円	千円	千円	千円	千円

第3問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① A社株式取得時におけるA社株式取得額に含まれるのれんの金額
- ② 20X8年3月末の連結貸借対照表に計上されるA社株式の金額
- ③ 20X7年度の連結損益計算書に計上される持分法による投資損益の金額  
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)
- ④ 20X9年3月末の連結貸借対照表に計上されるB社株式の金額
- ⑤ 20X8年度において、[資料Ⅱ]の3.に関連してP社とA社との取引により売上高に加減する金額  
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

①	千円	②	千円
③	借・貸	④	千円
⑤	借・貸		千円

第1問

貸借対照表		
純資産の部		(単位：千円)
株主資本		
資本金	( )	
資本準備金	( )	
その他資本剰余金	( )	( )
利益準備金	( )	
固定資産圧縮積立金	( )	
別途積立金	( )	
繰越利益剰余金	( )	( )
自己株式	( )	
株主資本合計	( )	
新株予約権	( )	
純資産合計	( )	

第2問

連結損益計算書		(単位：千円)
費用	金額	収益
金額		金額
売上原価		売上高
役員原価		役員収益
広告宣伝費		受取配当金
減価償却費		受取利息
のれん償却額		固定資産売却益
支払手数料		( )
その他の営業費用		
支払利息		
非支配株主に帰属する当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益		

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

(1) 満期保有目的債券	千円
(2) 子会社株式	千円
(3) 関連会社株式	千円
(4) その他有価証券	千円
(5) その他有価証券評価差額金（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円
(6) 繰延ヘッジ損益（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

第1問

決算整理後残高試算表 (一部)

(単位：千円)

売掛金	30,000	貸倒引当金	( )
投資有価証券	( )	社債	( )
長期貸付金	( )	その他資本剰余金	( )
繰延税金資産	( )	新株予約権	( )
その他有価証券評価差額金	( )	有価証券利息	( )
自己株式	( )	受取配当金	1,100
社債利息	( )	法人税等調整額	( )
貸倒引当金繰入額	( )		
貸倒損失	( )		
投資有価証券評価損	( )		

第2問

問1 \_\_\_\_\_ 百万円

問2

連結貸借対照表

(単位：百万円)

流動資産	( )	流動負債	( )
有形固定資産	( )	固定負債	( )
のれん	( )	資本金	( )
		利益剰余金	( )
		非支配株主持分	( )
	( )		( )

問3 \_\_\_\_\_ 百万円



第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

問1

損益計算書 (一部)

(単位: 千円)

	20X2 年度 (20X2年4月1日～20X3年3月31日)	20X3 年度 (20X3年4月1日～20X4年3月31日)
売上高	3,314,000	( )
売上原価		
期首商品棚卸高	( )	( )
当期商品仕入高	( )	( )
合計	( )	( )
期末商品棚卸高	( )	( )
売上総利益	( )	( )
販売費及び一般管理費		
減価償却費	( )	( )
営業利益	( )	( )

問2

(1)	20X2 年度期首における会計方針の変更による累積的影響額	千円
(2)	20X2 年度期首における過去の誤謬の訂正による累積的影響額	千円
(3)	20X2 年度における遡及処理後の当期純損益	千円
(4)	20X3 年度における繰越利益剰余金の期末残高	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

本支店合併損益計算書

自 20X6年4月1日 至 20X7年3月31日 (単位：千円)

I 売上高	( )	
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	( )	
2 当期商品仕入高	( )	
合計	( )	
3 期末商品棚卸高	( )	
差引	( )	
4 棚卸減耗損	( )	
5 商品評価損	( )	( )
売上総利益		( )
III 販売費及び一般管理費		
1 営業費	( )	
2 貸倒引当金繰入	( )	
3 減価償却費	( )	
4 退職給付費用	( )	( )
営業利益		( )
IV 営業外収益		
1 受取利息	( )	
2 有価証券利息	( )	
3 受取家賃	( )	( )
V 営業外費用		
1 ( )	( )	
2 為替差損	( )	( )
經常利益		( )
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		2,970
VII 特別損失		
1 投資有価証券評価損		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税		274,000
当期純利益		( )

問3

(単位：千円)

売掛金 (貸倒引当金控除前)	満期保有目的債券	その他有価証券	建物減価償却累計額	繰越利益剰余金

第1問

1	2	3	4

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)

連結貸借対照表

20X5年3月31日現在

(単位：千円)

	資産の部	
流動資産		
現金預金	28,500	
受取手形	( )	
売掛金	( )	
棚卸資産	( )	
営業外受取手形	( )	( )
固定資産		
有形固定資産	( )	
( )	( )	
その他有価証券	( )	( )
資産合計		( )
	負債の部	
流動負債		
支払手形	( )	
買掛金	( )	
短期借入金	( )	( )
固定負債		
長期借入金	( )	( )
負債合計		( )
	純資産の部	
株主資本		
資本金	( )	
資本剰余金	( )	
利益剰余金	( )	
その他の包括利益累計額	( )	( )
( )	( )	
純資産合計		( )
負債・純資産合計		( )

連結損益計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

売上高	( )
売上原価	( )
売上総利益	( )
販売費及び一般管理費	
販売費	5,000
一般管理費	( )
( )	( )
営業利益	( )
営業外収益	( )
営業外費用	( )
税金等調整前当期純利益	( )
法人税・住民税・事業税	3,200
当期純利益	( )
非支配株主に帰属する当期純利益	( )
親会社株主に帰属する当期純利益	( )

連結包括利益計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

当期純利益	( )
その他の包括利益	( )
包括利益	( )
親会社株主に係る包括利益	( )
非支配株主に係る包括利益	( )

連結株主資本等変動計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

利益剰余金当期首残高	( )
親会社株主に帰属する当期純利益	( )
配当金	( )
利益剰余金当期末残高	( )

第1問

(イ)		(ロ)	
(ハ)		(ニ)	
(ホ)			

第2問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

①退職給付費用            ②退職給付引当金            ③法人税等調整額

④連結貸借対照表における退職給付に係る負債

⑤連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額（税効果の金額控除後）

①	千円	②	千円	③	千円
④	千円	⑤	千円		

第3問

問1 合併直前の甲社の諸資産の帳簿価額を求めなさい。

千円

問2 合併時に事業Bに配分されるのれんを求めなさい。

千円

問3 20X8年3月31日の決算にあたってのれん配分前の事業Aを構成する資産から生じる減損損失を求めなさい。

千円

問4 20X8年3月31日の決算にあたってのれんを含むより大きな単位で事業Aに生じる減損損失を求めなさい。

千円

問5 20X8年3月31日における減損損失控除後ののれんの帳簿価額を求めなさい。

千円

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

損益計算書

自2X18年4月1日 至2X19年3月31日 (単位：千円)

I 売上高		
1 一般売上高	( )	
2 小売売上高	( )	( )
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	( )	
2 当期商品仕入高	( )	
合計	( )	
3 他勘定振替高	( )	
4 期末商品棚卸高	( )	( )
売上総利益		( )
III 販売費及び一般管理費		
1 販売費	( )	
2 一般管理費	( )	
3 貸倒引当金繰入	( )	
4 減価償却費	( )	
5 退職給付費用	( )	( )
営業利益		( )
IV 営業外収益		
1 受取配当金	( )	
2 受取利息	( )	( )
V 営業外費用		
1 貸倒引当金繰入	( )	
2 支払利息	( )	
3 社債利息	( )	( )
経常利益		( )
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		( )
VII 特別損失		
1 ( )		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税		( )
当期純利益		( )

問3

(単位：千円)

建物の帳簿価額	社債	リース債務	資本準備金	繰越利益剰余金

第1問

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)

(ホ)	(ヘ)	(ト)	(チ)

(リ)	(ヌ)	(ル)

第2問

問1

連結貸借対照表

20X3年度末現在

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金		買掛金	
売掛金		長期借入金	
棚卸資産		資本金	
有形固定資産		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	
投資有価証券		その他の包括利益累計額	
		非支配株主持分	

問2

親会社株主に帰属する当期純利益	包括利益
千円	千円

損益計算書

(単位：千円)

商品売上原価 ( )	商品売上高 ( )
役員原価 ( )	役員収益 ( )
商品保証引当金繰入額 ( )	受取利息配当金 ( )
販売費 ( )	投資有価証券売却益 ( )
貸倒引当金繰入額 ( )	
一般管理費 ( )	
減価償却費 ( )	
ソフトウェア償却額 ( )	
退職給付費用 ( )	
支払リース料 ( )	
支払利息 25,000	
関係会社株式評価損 ( )	
法人税、住民税及び事業税 ( )	
法人税等調整額 ( )	
当期純利益 ( )	
( )	( )

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金 ( )	買掛金 585,000
売掛金 ( )	契約負債 ( )
貸倒引当金 ( )	短期借入金 ( )
商品 ( )	商品保証引当金 ( )
前払費用 ( )	未払法人税等 ( )
建物 1,500,000	未払費用 ( )
建物減価償却累計額 ( )	長期借入金 1,000,000
土地 1,089,900	退職給付引当金 ( )
ソフトウェア ( )	資本金 1,000,000
投資有価証券 ( )	資本準備金 200,000
関係会社株式 ( )	利益準備金 ( )
破産更生債権等 ( )	繰越利益剰余金 ( )
繰延税金資産 ( )	その他有価証券評価差額金 ( )
( )	( )

(注) 金額がマイナスの場合、△を付しなさい。



第8回 会计学/161回他 問題 P.45 解答解説 P.128

第1問

ア	イ	ウ

エ	オ

第2問

問1 前期末における繰延税金資産の金額（純額）： \_\_\_\_\_ 千円

当期末における繰延税金資産の金額（純額）： \_\_\_\_\_ 千円

問2

	損益計算書（一部）	（単位：千円）
税引前当期純利益		80,000
法人税・住民税・事業税	(                    )	
法人税等調整額	(                    )	(                    )
当期純利益	(                    )	(                    )

第3問

問1 (単位：円)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問2 (単位：円)

(1)	(2)	(3)

		金額
(1)	原料B当月購入単価	千円
(2)	原料A当月消費額	千円
(3)	第1工程加工費配賦額	千円
(4)	第2工程加工費実際発生額	千円
(5)	第1工程完成品原価(原料費)	千円
	第1工程完成品原価(加工費)	千円
(6)	第2工程月初仕掛品原価(前工程費)	千円
	第2工程月初仕掛品原価(加工費)	千円
(7)	第2工程完成品原価(原料費)	千円
	第2工程完成品原価(加工費)	千円

問1

問2

製品Xの生産量 =  個製品Yの生産量 =  個

問3

(1) 製品Xの生産量 =  個製品Yの生産量 =  個(2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。  
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問4

(1) 臨時の注文 200 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。  
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

(2) 臨時の注文 300 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。  
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

第1問

問1

\_\_\_\_\_ 円

問2

(1) \_\_\_\_\_ 円

(2) \_\_\_\_\_ 円 (借方・貸方) 差異

(注) ( ) 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

(1) \_\_\_\_\_ 円

(2) \_\_\_\_\_ 円/ロット

(3) \_\_\_\_\_ 円 (借方・貸方) 差異

(注) ( ) 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問4

(1) \_\_\_\_\_ 円

(2) \_\_\_\_\_ 円

問5

(1) \_\_\_\_\_ 円 (借方・貸方) 差異

(注) ( ) 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

(2) \_\_\_\_\_ 円 (借方・貸方) 差異

(注) ( ) 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問6

\_\_\_\_\_

第2問

①	仕 損 費	予 定 配 賦 額	加 工 費	異 常 仕 損 費	原 価 差 異
②	材 料 受 入 価 格 差 異	異 常 仕 損 費	非 原 価 項 目	処 分 価 額	操 業 度 差 異
③	完 成 品	売 上 原 価	営 業 外 費 用	材 料 消 費 高	良 品
④	科 目 別	指 図 書 別	組 別	等 級 別	部 門 別

問 1

①	工 程 管 理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修		修 理
④	補 修		修 理
⑤			(万円)
⑥			(%)

問 2

⑦	意 思 決 定	業 績 評 価	予 算 管 理
⑧	原 価 差 異 分 析	差 額 原 価 収 益 分 析	C V P 分 析
⑨			(万円)
⑩			(万円)
⑪			(万円)
⑫			(万円)
⑬	第 1 案		第 2 案
⑭			(万円)

問1

自製部品A	円
自製部品B	円
自製部品C	円

問2

製品X	円
製品Y	円
製品Z	円

問3

買入部品 a	個
買入部品 b	個
買入部品 c	個
買入部品 d	個
買入部品 e	個

問4

部品製造部門必要直接作業時間	時間
製品製造部門必要直接作業時間	時間

問5

買入部品消費量差異	円	( 借方 ・ 貸方 )
直接労務費作業時間差異	円	( 借方 ・ 貸方 )
製造間接費能率差異	円	( 借方 ・ 貸方 )

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問6

自製部品消費量差異	円	( 借方 ・ 貸方 )
直接労務費作業時間差異	円	( 借方 ・ 貸方 )
製造間接費能率差異	円	( 借方 ・ 貸方 )

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問1 年間撮影件数  件

問2

(1) 高性能のCTスキャン購入案の税引後ネット・キャッシュ・インフロー

(単位：千円)

X7年度末	X8年度末	除却年度末

(2) 高性能のCTスキャン購入案の正味現在価値  千円

問3

①	独立投資案	相互排他的投資案	補完投資案
②	内部利益率法	回収期間法	正味現在価値法
③	内部利益率	回収期間	正味現在価値
④	長い		短い
⑤	現価		終価
⑥			(万円)
⑦			(万円)
⑧	高性能のCTスキャン購入案	普通の性能のCTスキャン購入案	

## 問1

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

## 問2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	



第4回 原価計算/92回 問題 P.154 解答解説 P.214

(注) 計算した差異につき、有利な差異は+、不利な差異は-の記号を ( ) 内につけなさい。差異金額は、千円単位で記入すること。

〔問1〕等級別売上高の予算・実績総差異

等級	総差異 (千円)
F	( )
C	( )
Y	( )
合計	( )

〔問2〕等級別航空運賃差異と等級別発券枚数差異

等級	等級別航空運賃差異 (千円)	等級別発券枚数差異 (千円)
F	( )	( )
C	( )	( )
Y	( )	( )
合計	( )	( )

〔問3〕等級別セールス・ミックス差異と等級別総発券枚数差異

等級	等級別セールス・ミックス差異 (千円)	等級別総発券枚数差異 (千円)
F	( )	( )
C	( )	( )
Y	( )	( )
合計	( )	( )

〔問4〕

市場占有率差異 = ( ) (千円)

市場総需要量差異 = ( ) (千円)

問1

- ① 材料仕入高 \_\_\_\_\_ 円
- ② 直接材料費 \_\_\_\_\_ 円
- ③ 製造間接費 \_\_\_\_\_ 円
- ④ 製品完成高 \_\_\_\_\_ 円
- ⑤ 売上原価 \_\_\_\_\_ 円
- ⑥ 在庫金利 \_\_\_\_\_ 円
- ⑦ 営業利益 \_\_\_\_\_ 円
- ⑧ 売上高営業利益率 \_\_\_\_\_ %

問2

- ① 設計                      適合性                      安全                      (いずれかを○で囲みなさい)

---

- ② \_\_\_\_\_ 円
- ③ 予防                      評価                      失敗                      (いずれかを○で囲みなさい)

---

- ④ 標準                      実際                      機会                      支出                      (いずれかを○で囲みなさい)

---

問3

- ㉗ \_\_\_\_\_
- ㉘ \_\_\_\_\_
- ㉙ \_\_\_\_\_
- ㉚ \_\_\_\_\_

問1 各代替案の税引前キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問2 各代替案の税引後キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問3

(単位：万円)

	甲案	乙案	差額(甲案-乙案)
正味現在価値			

(注) 正味現在価値がマイナスの場合は、数字を括弧で括りなさい。

したがって、新設備を導入する方が(有利、不利)である。

(二重線を引いて不要の文字を消しなさい。)

問1

\_\_\_\_\_ 円/個

問2

(1)		kg
(2)		時間

問3

①	
②	
③	

問4

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ( )	売上高		7,000,000
営業費 ( )			
営業利益 ( )			
		7,000,000	7,000,000

問5

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ( )	売上高		11,200,000
営業費 ( )			
営業利益 ( )			
		11,200,000	11,200,000
内部利益控除 ( )	本社営業利益 ( )		
全社の営業利益 ( )	工場営業利益 ( )		
( )	( )		

第6回 原価計算 / 157回 問題 P.162 解答解説 P.230

第1問

問1

問2

問3  千円

問4

問5

問6  %

問7

第2問

問1 X製品  円 Y製品  円

問2 X製品  個 Y製品  個

問3

(1)  円

(2)  円

問4

①	直接原価計算	最小自乗法	多重回帰分析	線形計画法
②	非基底変数	独立変数	スラック変数	従属変数
③	貢献利益図表	機能原価分析表	損益分岐図表	シンプレックス表
④	シンプレックス基準	貢献利益	ピボット・エレメント	シャドウ・プライス

問1

購入原料価格差異	円 ( )
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ( )
	原料歩留差異	円 ( )
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ( )
	労働能率差異	円 ( )
	労働歩留差異	円 ( )
変動製造間接費の差異分析	予算差異	円 ( )
	能率差異	円 ( )
	歩留差異	円 ( )
標準変動費差異合計		円 ( )

問1, 問2の ( ) 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。  
「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

実際損益計算書

(単位：円)

売上高	( )
標準変動費	( )
標準貢献利益	( )
標準変動費差異	( )
実際貢献利益	( )
固定製造間接費	( )
棚卸資産金利	( )
設備金利	( )
販売手数料	( )
固定一般管理費	( )
残余利益	( )

第1問

問1 2月の売上原価予算 (単位: 千円)

直接材料費予算	① ( )
直接労務費予算	② ( )
製造間接費予算配賦額	③ ( )
当月総製造費用	( ? )
月初製品有高	( ? )
月末製品有高	( ? )
売上原価	( ? )
予定操業度差異	④ ( )
売上原価予算	⑤ ( )

問2 ( ) 千円

問3 ( ) 千円

問4 ( ) 千円

問5 ( ) %

第2問

問1 ① ( )

② ( )

③ ( )

問2 ④ ( )

⑤ ( )

⑥ ( )

⑦ ( )

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

仕掛直接材料費

前月繰越	(            )	製品	(            )
当月消費高	(            )	次月繰越	(            )
	(            )		(            )

問3 製造間接費予定配賦額 (            ) 円

製造間接費配賦差異 (            ) 円

< 借方差異      貸方差異      差異はゼロ >

注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

問4 販売費予定配賦額 (            ) 円

販売費配賦差異 (            ) 円

< 借方差異      貸方差異      差異はゼロ >

注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

問5 売上総利益 (            ) 円

営業利益 (            ) 円



第1問  
問1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売上高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変動売上原価：			
直接材料費	3,200,000	240,000	160,000
直接加工費			
変動間接加工費			
前工程費	0		
計			
次工程振替高			
差引：変動売上原価			
貢献利益			
固定費			
工程利益			1,343,880

問2

	第1工程	第2工程	第3工程
貢献利益率	%	%	%
工程利益率	%	%	%

第2問

	I欄	II欄
(1)		
(2)		
(3)		

## 貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 流動資産</b>		<b>I 流動負債</b>	
( ) ( )	( )	買掛金 ( )	( )
売掛金 ( )	( )	短期借入金 ( )	( )
商品 ( )	( )	未払金 ( )	( )
貯蔵品 ( )	( )	未払費用 ( )	( )
前払費用 ( )	( )	( ) ( )	( )
未収収益 ( )	( )	( ) ( )	( )
仮払金 ( )	( )	預り金 ( )	( )
貸倒引当金 ( )	( )	賞与引当金 ( )	( )
<b>II 固定資産</b>		<b>II 固定負債</b>	
<b>有形固定資産</b>		社 債 ( )	( )
建 物 ( )	( )	( ) ( )	( )
構 築 物 ( )	( )	営業保証金 ( )	( )
工具、器具及び備品 ( )	( )	負債合計 ( )	( )
土 地 ( )	( )	純 資 産 の 部	
<b>無形固定資産</b>		<b>I 株主資本</b>	
借地権 ( )	( )	資本金 ( )	( )
<b>投資その他の資産</b>		資本剰余金 ( )	( )
( ) ( )	( )	資本準備金 ( )	( )
( ) ( )	( )	その他資本剰余金 ( )	( )
破産更生債権等 ( )	( )	利益剰余金 ( )	( )
繰延税金資産 ( )	( )	利益準備金 ( )	( )
ゴルフ会員権 ( )	( )	その他利益剰余金 ( )	( )
貸倒引当金 ( )	( )	繰越利益剰余金 ( )	( )
		<b>II 評価・換算差額等</b>	
		その他有価証券評価差額金 ( )	( )
		純資産合計 ( )	( )
資産合計 ( )	( )	負債及び純資産合計 ( )	( )

損益計算書

自 2020年4月1日  
至 2021年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		( )
売 上 原 価		( )
売 上 総 利 益		( )
販売費及び一般管理費		( )
営 業 利 益		( )
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	( )	
有 価 証 券 利 息	( )	
受 取 配 当 金	( )	
投資有価証券売却益	( )	
( )	( )	
雑 収 入	( )	( )
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	( )	
社 債 利 息	( )	
( )	( )	
雑 損 失	( )	( )
経 常 利 益		( )
特 別 利 益		
( )	( )	( )
特 別 損 失		
( )	( )	
貸倒引当金繰入額	( )	
ゴルフ会員権評価損	( )	( )
税引前当期純利益		( )
( )	( )	
( )	( )	
( )	( )	( )
当 期 純 利 益		( )

販売費及び一般管理費の明細 (単位：千円)

科目	金 額
報酬及び給料手当	485,047
賞 与	( )
通 信 費	( )
租 税 公 課	( )
減 価 償 却 費	97,212
支 払 手 数 料	( )
貸倒引当金繰入額	( )
賞与引当金繰入額	( )
退職給付費用	( )
その他の経費	195,473
合 計	( )

答案  
用紙

税  
理  
士

会  
計  
士

第 1 回

第 2 回

第 3 回

第 4 回

第 5 回

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金預金		買掛金	
未収入金		未払法人税等	
契約資産		前受賃貸収入	
材 料		預り保証金	
建 物 D	900,000	リース債務	
備 品 C	150,000	貸倒引当金	
リース資産		退職給付引当金	
土 地	387,920	工事損失引当金	
繰延税金資産		繰延税金負債	
その他の固定資産	1,300,000	その他の負債	778,000
完成工事原価(材料費)		備品C減価償却累計額	
完成工事原価(労務費)		建物D減価償却累計額	
完成工事原価(外注加工費)		その他の固定資産減価償却累計額	500,000
完成工事原価(経費)		資 本 金	5,000,000
完成工事原価(工事損失引当金繰入)		利 益 準 備 金	299,400
不動産賃貸原価		圧 縮 積 立 金	
給 与 手 当	432,000	繰越利益剰余金	
退職給付費用		完 成 工 事 高	
減価償却費(備品C)		不 動 産 賃 貸 収 入	
減価償却費(ソフトウェア)		国庫補助金収入	300,000
販 売 費	135,000		
減価償却費(その他の固定資産)	7,000		
貸倒引当金繰入			
支 払 利 息			
法人税、住民税及び事業税			
法人税等調整額			
合 計		合 計	

問1 X2年度末

- ① P社の連結貸借対照表上のA社株式  百万円
- ② ①のA社株式に含まれているのれん  百万円
- ③ B社株式に含まれているのれん  百万円

問2 X3年度末

- ① 連結修正仕訳においてA社の資本と相殺されるP社のA社株式に対する投資  百万円
- ② 段階取得に係る差益  百万円
- ③ P社の連結貸借対照表上のA社に係るのれん  百万円
- ④ A社に係る非支配株主持分  百万円
- ⑤ B社に係る非支配株主持分  百万円
- ⑥ P社の連結貸借対照表上の為替換算調整勘定  百万円

問3

(単位：百万円)

(借)	非支配株主持分当期変動額 ( )	(貸)	B社株式 ( )
	( ) 当期変動額 ( )		

問1

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金	961,000	未払法人税等	( )
製品	( )	長期借入金	2,000,000
商品	( )	退職給付引当金	( )
仕掛品	( )	企業結合に係る特定勘定	( )
A事業部資産	( )	A事業部資産減価償却累計額	( )
B事業部資産	( )	B事業部資産減価償却累計額	( )
C事業部資産	( )	C事業部資産減価償却累計額	( )
共用資産	( )	共用資産減価償却累計額	( )
のれん	( )	資本金	1,000,000
投資有価証券	( )	資本準備金	540,000
繰延税金資産	( )	利益準備金	150,000
		繰越利益剰余金	( )
		その他有価証券評価差額金	( )
	( )		( )

損益計算書

(単位：千円)

期首製品棚卸高	40,000	A事業部売上高	1,800,000
期首商品棚卸高	160,000	B事業部売上高	2,800,000
当期商品仕入高	3,900,000	C事業部売上高	2,000,000
当期製品製造原価	( )	期末製品棚卸高	( )
棚卸減耗損	( )	期末商品棚卸高	( )
棚卸資産評価損	( )	投資有価証券売却益	90,000
販売費	100,000	企業結合に係る特定勘定取崩益	( )
労務費	( )	法人税等調整額	( )
退職給付費用	( )		
減価償却費	( )		
のれん償却額	( )		
その他経費	( )		
支払利息	100,000		
減損損失	( )		
事業整理損失	( )		
法人税、住民税及び事業税	( )		
当期純利益	( )		
	( )		( )

問2

修正案に基づいた場合の減損損失  千円

修正案に基づいた場合のB事業部資産  
の減損処理後の帳簿価額  千円

問3

(1)	(2)	(3)	(4)

問4

(5)	(6)

問5

(単位:千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問1

第3四半期合併損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ( )	売上高 ( )
その他費用 898,500	四半期純損失 ( )
( )	( )

第3四半期合併貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 606,000	諸負債 1,245,000
商品 ( )	資本金 350,000
S社株式 48,000	資本剰余金 5,000
その他資産 520,000	利益剰余金 ( )
( )	( )

問2

第3四半期連結損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ( )	売上高 ( )
のれん償却額 ( )	親会社株主に帰属する四半期純損失 ( )
その他費用 933,500	
非支配株主に帰属する四半期純利益 ( )	
( )	( )

第3四半期連結貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 631,000	諸負債 1,290,000
商品 ( )	資本金 ( )
のれん ( )	資本剰余金 ( )
その他資産 ( )	利益剰余金 ( )
	非支配株主持分 ( )
( )	( )



問3

個別財務諸表 移転損益  千円

連結財務諸表 移転損益  千円

問4

個別財務諸表 子会社株式  千円

連結財務諸表 資本剰余金  千円

連結財務諸表 非支配株主持分  千円

問5

個別・連結財務諸表 移転損益  千円